

2019年（令和元年）12月18日

公益社団法人藤沢市医師会
公益社団法人藤沢市歯科医師会
一般社団法人藤沢市薬剤師会 各位

藤沢市保健所保健予防課

インフルエンザ流行注意報を発令します

藤沢市では、感染症発生動向調査による、2019年第50週（12/9～12/15）におけるインフルエンザの発生状況が、流行注意報レベルの基準（定点医療機関*あたりの患者報告数10.00人）を超え、定点あたりの患者報告数が11.94人となりました。

昨シーズンより3週早い流行注意報レベルとなっております。今後は、さらに流行が広がることが予想されますので、感染予防対策をお願いいたします。

（※「定点医療機関」…定期的に患者発生状況を報告いただいている市内医療機関（インフルエンザの場合は、16か所）。定点あたりの数とは、1週間分の患者の平均値。）

週	集計期間	全国	神奈川県	藤沢市
46週	11月11日～11月17日	1.84	2.58	1.25（流行開始）
47週	11月18日～11月24日	3.11	3.94	1.81
48週	11月25日～12月1日	5.52	7.08	2.81
49週	12月2日～12月8日	9.52	12.86	6.31
50週	12月9日～12月15日	-	-	11.94 （流行注意報発令）

インフルエンザへの対策

インフルエンザは、主に感染している人の咳やくしゃみ、つばなどの飛沫を吸い込むことで感染します。また、ウイルスが付着した手で、目や鼻をこすることでも感染するおそれがあります。

- ◆石けんをよく泡立てて手洗いをしましょう。集団生活をしている施設では、共用タオルの使用はやめましょう。
- ◆咳などの症状があるときはマスクを着用するなど、咳エチケットを徹底しましょう。
- ◆咳やくしゃみを手で受け止めたときは、すぐに手を石けんで洗いましょう。

◆体調が悪いときは早めに身体を休め、医療機関を受診しましょう。

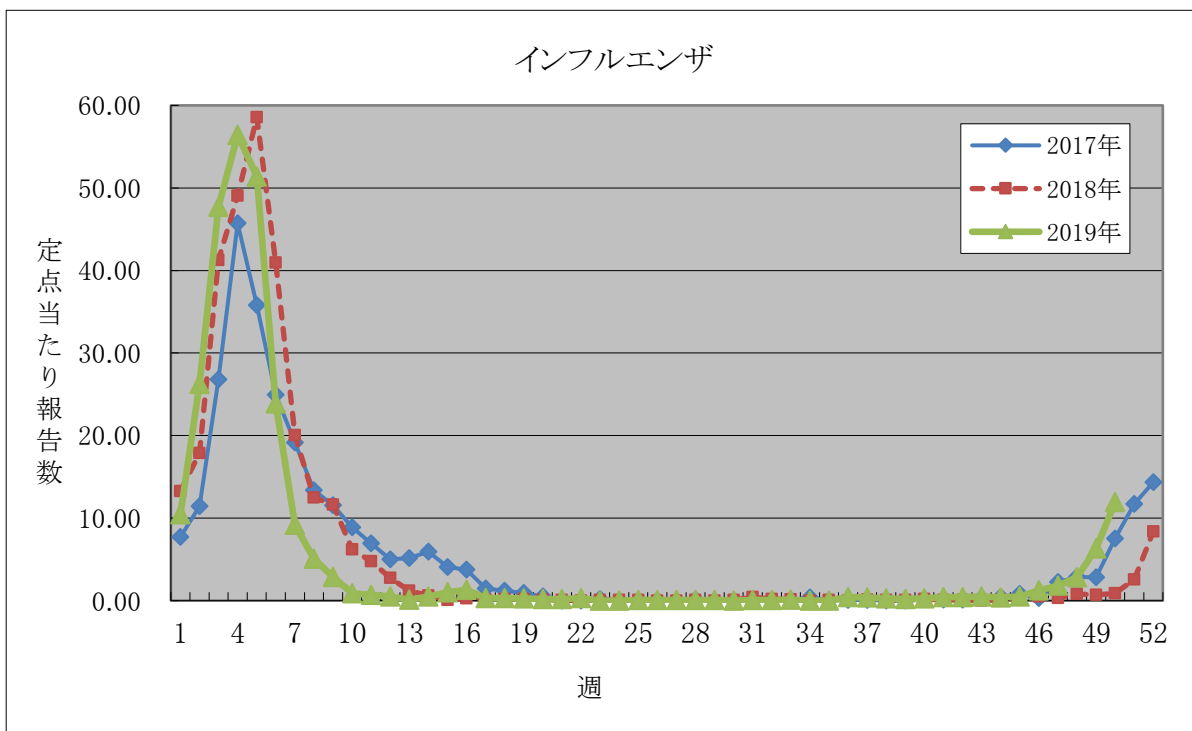
とくに、乳幼児や高齢者、妊婦、持病のある人は重症化しやすいので、容態の変化に注意しましょう。

【注意！】 インフルエンザと診断された場合、抗インフルエンザ薬を使用して解熱しても、すぐにウイルスの排出がなくなるわけではありません。登校・登園や仕事に復帰する時期は、医師の指示に従ってください。

【参考：学校保健安全法による出席停止期間】

「発症した後（発熱の翌日を1日目として）5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児は3日）を経過するまで」

▼藤沢市内のインフルエンザ発生状況グラフ



以上

藤沢市保健所保健予防課

担当：田淵・中村

電話：0466（50）3593